

6-3

Department of Environmental Design and Innovation

環境デザイン創成学科

情報デザイン学部 環境デザイン創成学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、環境デザイン創成学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(情報)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図表を用いたコミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～M

I キャリアデザイン能力 J 現状を敷衍して先を見通す基礎能力 K 地域や社会の全体像を描いて構想する基礎能力 L コミュニケーションを介して協業する基礎能力
M 社会応用実践能力

教育目標

環境デザイン創成学科では、「現状を敷衍して先を見通す基礎能力」「地域や社会の全体像を描いて構想する基礎能力」「コミュニケーションを介して協業する基礎能力」の基礎能力を身に付けて、持続可能な社会を築くための将来像を描き、その将来の実現に向かってやりぬくことのできる人材を育成する。

課程区分	科目区分	科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数		
			1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究
修学基礎教育課程	修学基礎	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②							4	—	—
		人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1	▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ①	※1	▶ 科学技術者倫理 ②	※1		7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①							2	—	—
		人間と自然	▶ 人間と自然								合格が 卒業要件	—	—
英語教育課程	英語科目	英語	□ イングリッシュベシックス ② □ イングリッシュピックス1 ② □ イングリッシュピックス3 ② □ イングリッシュピックス5 ②	□ イングリッシュピックス2 ② □ イングリッシュピックス4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング1 ② □ ライティングベシックス ② □ STEMイングリッシュ ② □ TOEIC初級 ② □ TOEIC中級 ② □ インテンシブイングリッシュ ②	□ イングリッシュピックス3 ② □ イングリッシュピックス5 ② □ アカデミックリーディング2 ② □ アカデミックプレゼンテーション ② □ イングリッシュセミナー ②	□ イングリッシュピックス4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング1 ② □ ライティングベシックス ② □ STEMイングリッシュ ②	※1				—	8	※3
		数理基礎	▶ 情報のための数学 I ② ▶ 情報のための数学 II ②	▶ 線形代数 ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ① □ 情報数理 A ② □ データサイエンス物理 ②	▶ データサイエンス基礎 II ①	□ アドバンスト数理 A ② □ アドバンスト数理 B ②	▶ 技術者のための統計 ②	※1			9	2	
基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト	基礎プロジェクト	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②					10	—	—
		専門科目	▶ 情報デザインキャリアデザイン(環境デザイン創成) ② ▶ Webデザイン ② ▶ 経営学入門 ② ▶ データアナリティクス入門 ②	▶ 社会調査法 ② ▶ グラフィック・コミュニケーション ② ▶ グローバル開発論 ② ▶ コミュニケーション・デザイン入門 ② □ プログラミング基礎 ②	▶ イノベーション・デザイン ② ▶ カーボンニュートラル概論 ② ▶ コミュニケーション・デザイン実践 ② ▶ 経営分析とESG ② ▶ ランドスケープ入門 ② □ マーケティング基礎 ②	▶ ウェルビーイングシティ政策デザイン ② □ 3次元コンピュータグラフィックス入門 ② □ 共生社会デザイン概論 ② □ 異文化理解・コミュニケーション ② □ 思考のトレーニング ② □ 地域・ランドスケープ計画論 ② □ 社会シミュレーション ② □ 環境・空間調査分析法 ②	▶ 環境デザイン創成専門実験・演習 A ③ ▶ NGO組織デザイン概論 ② □ グローバルリーダーシップ実践 ② □ データアナリティクス ② □ 環境・エネルギーシステム論 ② □ サステナブルファイナンス ② □ 映像メディアと環境応用 ② □ リアルワールド・ユニバーサルデザイン論 ② □ SDGs・GX・SX入門 ②	▶ 環境デザイン創成専門実験・演習 B ③ □ 環境と倫理 ② □ ヘドニステック・サステナビリティ実践 ② □ 環境アート・デザイン論 ② □ 学習理論と環境応用 ②		60	—	※3	
専門プロジェクト科目	その他	専門プロジェクト科目					▶ イノベーション基礎 ①	▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧		10	—	—
		全課程から提供	リベラルアーツ系科目					□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①	※1		—	12

▶ 必修科目 □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

合計

124

カリキュラムガイド

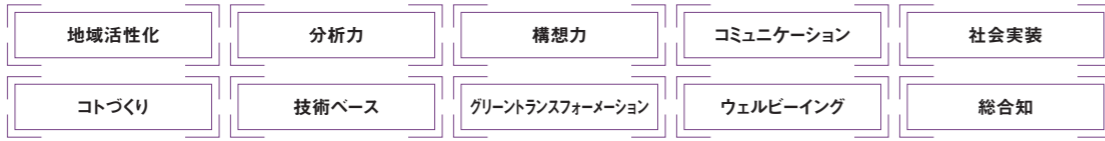
詳細は次ページへ

6-3

Department of Environmental Design and Innovation

環境デザイン創成学科 [専門教育課程]

キーワード



学ぶ領域

①現状を敷衍して先を見通す基礎能力

社会や環境の現状を把握するための基本的な調査法やデータ分析などを理解し、様々なテクノロジーが社会や環境に対する役割や影響を理解する。

②地域や社会の全体像を描いて構想する基礎能力

人間と社会と自然を取り巻く環境に関する関係と構造を理解し、さらに地域や社会の様々な環境的要因を考慮して理想的な将来像を描くことができる。

③コミュニケーションを介して協業する基礎能力

自らの考えを相手に効果的に伝える手法を理解して実践することができ、様々な背景や文化を有する人たちに対しても傾聴や対話によって相手を理解して、建設的なコミュニケーションをとることができる。

ディプロマ・ポリシー (DP)	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期
キャリアデザイン能力 (I) 環境デザイン創成学科において何を学ぶか、環境デザイン創成とは何を目指しているのかなどを理解する。環境デザイン創成学科教育プログラムの学習・教育目標を把握し、自ら履修計画および学習計画を立案できる。また、社会動向や就職環境などを把握して、自らの適性と希望に応じた将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。	▶ 情報デザインキャリアデザイン (環境デザイン創成) ②					□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①	
現状を敷衍して先を見通す基礎能力 (J) 社会や環境の現状を把握して基本的なリテラシーである各種の調査法やデータ分析などを理解している。また、様々なテクノロジーが社会や環境に対して果たしている役割や影響を基本的な素養として理解する。それらの理解に基づいて、現状を外挿した将来を予想することができる。	▶ データアナリティクス入門 ②		▶ 経営分析とESG ②	▶ カarbonニュートラル概論 ②	□ 社会シミュレーション ②	□ データアナリティクス ② □ 環境・エネルギーシステム論 ② □ サステナブルファイナンス ② □ 映像メディアと環境応用 ②	□ 学習理論と環境応用 ②	
地域や社会の全体像を描いて構想する基礎能力 (K) 過疎化等の地域課題から気候変動等の地球規模課題までの人間と社会と自然を取り巻く環境に関する知識と構造を理解し、さらに地域や社会の様々な環境的要因を考慮して理想的な将来像を描くランドデザインを作成することができる。	▶ 経営学入門 ②	▶ グローバル開発論 ②	▶ イノベーション・デザイン ② ▶ ランドスケープ入門 ②	▶ ウェルビーイングシティ政策デザイン ②	□ 地域・ランドスケープ計画論 ② □ 環境・空間調査分析法 ②			
コミュニケーションを介して協業する基礎能力 (L) 的確な言葉やグラフィックを用いて、自らの考えを相手に効果的に伝える手法を理解して実践することができる。さらに、地域や社会の利害関係者、あるいは様々な背景や文化を有する人たちに対して、傾聴や対話によって相手を理解して、建設的なコミュニケーションをとることができる。	▶ Webデザイン ②	□ プログラミング基礎 ② ▶ グラフィック・コミュニケーション ② ▶ コミュニケーション・デザイン入門 ②	▶ コミュニケーション・デザイン実践 ②	□ 3次元コンピュータグラフィックス入門 ② □ 数化理解・コミュニケーション ② □ 思考のトレーニング ②		□ 環境と倫理 ②		
社会応用実践能力 (M) 修得した基礎能力を応用して、地域や社会の課題を発見して多様な社会課題の中で自らが取り組むべき課題を自分の意志で選択して、その課題を解決するための計画を立てて、解決に導くための行動を取ることができる。さらに、地域や社会に有用な価値を創出するイノベーションの種を見つけ出し、イノベーションを起こす行動に結びつけることができる。また、地域や社会の様々な規模に至る課題に対して、問題解決の過程に基づき解決案を創出し成果を得ることができる。また理論的なアイデアを具体的な計画やレポートで明確に表現することができ、そのアイデアの有効性を実証するための調査や実施項目を計画し、実行に移して成果を上げることができる。以上のすべてを適切に説明することができる。				□ 共生社会デザイン概論 ③	▶ 環境デザイン創成 専門実験・演習 A ③ □ バリアフリー・ユニバーサルデザイン論 ②	▶ 環境デザイン創成 専門実験・演習 B ③		▶ プロジェクトデザイン III ⑧
					▶ イノベーション基礎 ① □ SDGs・GX・SX入門 ② □ グローバルリーダーシップ実践 ②	▶ 専門ゼミ ① □ ヘドニスティック・サステナビリティ実践 ② □ 環境アート・デザイン論 ②		

▶ 必修科目 □ 選択科目 ○付数字は単位数を表す

カリキュラムガイド